

地域の安全を支える女性の力 丹波市女性消防分団



地域のために私ができること キーワードは「使命感」

消防団員は、それぞれの仕事を持ちながら消火活動や人命救助などを行い、地域住民の安全と安心を守るという重要な役割を担っています。その中で女性消防分団は、救急救命講習の補助などを通して地域の安全を支える活動をしています。

丹波市で活躍する女性消防分団のみなさんに話を聞きました。

救急救命講習や寸劇で啓発

「女性消防分団は火災のときも活動するのですか」と、よく聞かれるのですが、男性の消防団員とは異なり、火災や災害現場での活動は行いません。主な活動は、PTAや自治会などが主催する救急救命講習の補助や、火災予防の啓発活動です。

イベントなどで、住宅用火災報知器の設置や救急車の呼び方などについての寸劇を行うこともあり、防火・防災に関心を持ってもらえるよう、現在、11人の女性団員が活動しています。

応急手当普及員の資格を取得

活動の中心は、消防署の隊員が指導者を務める、心肺蘇生法やAEDの使い方を学ぶ救急救命講習会での補助です。女性消防分団に入団後、6人の団員が救急救命講習会で補助をするための「応急手当普及員」の資格を取得しました。緊急出動などで、指導する消防署の隊員が少ない時は、女性消防分団が指導にあたるなど重要な役割を果たしています。

人命救助はとても勇気のいる行動です。心肺蘇生法の動作や、AEDの操作は、普段の生活のなかで頻繁に行うものではないので、いざという

うときに一人でも多くの人が実践できるように、動作や操作を何度も繰り返し返して、体で覚えてもらえるような指導を心がけています。

専用車両で火災予防の巡回放送

今年は新型コロナウイルス感染症防止のため、救急救命講習の開催がなくなり、活動日数は減りましたが、地域毎に、毎月1回、女性消防分団の専用車両で火災予防の巡回放送を実施しています。

毎月行う定例会議では、担当する班や活動日程の調整を行い、住宅地をゆっくり走行しながら約1時間半の巡回放送をしています。

楽しみながら地域に役立ちたい

職場や知り合いからの紹介など、団員によって入団したきっかけは様々ですが、地域の役に立てるように使命感を持ちながらも楽しく、団員一丸となって活動しています。

いろいろな人と関わりながら活動をしていくうちに、自分にも地域のためにできることがあると分かったときは達成感があります。今後も地域に寄り添い、少しでも防火・救急に関心を持ってもらえるような活動を続けたいと思います。

